

平成 24 年度第 1 回男女共同参画審議会 議事録

日 時	平成 24 年 8 月 3 日（金） 午後 1 時 30 分～3 時 26 分
場 所	豊橋市役所 西館 4 階 コミュニティルーム
出席者	別紙のとおり
欠席者	なし
傍聴者	なし

（進行：市民協働推進課長）

1 開会

2 文化市民部長あいさつ

3 委嘱状の交付

※各委員による自己紹介、続いて事務局職員による自己紹介

4 議題

（仮議長：文化市民部長）

(1) 豊橋市男女共同参画推進条例について

※資料 1 に基づき事務局が説明

(2) 会長及び副会長の選出について

※委員の互選による選出の結果、以下のように決定

○会 長 木之下隆夫

○副会長 荒木 仁子

(3) 審議会の運営について

※資料 1 に基づき事務局が説明

**事務局** 議事録の作成に関しては、録音した上で作成しており、本日及び次回以降も同様の取り扱いとしていく。また、議事録については会議の要旨を作成した後、2 名の委員に署名・押印していただく形になる。

**会 長** 今回の議事録の署名については、会長・副会長を除いた 50 音順名簿により、伊藤委員と杉浦委員にお願いしたい。

(4) 平成 23 年度事業実施結果について

※資料 2 に基づき事務局が説明

(5)平成 24 年度事業計画について

※資料 3 に基づき事務局が説明

(6)豊橋市男女共同参画行動計画 とよはしハーモニープラン 2013-2017（中間報告案）について

※資料 4 に基づき事務局が説明

**委員** 計画の体系図にリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する記述が見当たらないが、その理由は何か。

**事務局** リプロダクティブ・ヘルス/ライツは、従来から「重点課題」ではなくその下位の「施策の方向」の中に掲載されているため、計画の体系図には示されていない。

**委員** 国や県の計画に倣う形で計画から外されることが往々にしてあるので、そのようなことのないようにしてもらいたい。

**委員** 計画の一部をDV基本計画として位置づけるという説明があったが、よく理解できない。

**事務局** 国の定めたDV防止法の改正において、市町村にはDV基本計画策定の努力義務が規定された。さらに、愛知県がDV基本計画を策定する中で「県内各市町村においてDV基本計画を策定する」という基本目標を定めたことにより、数年前からそのような動きが加速してきた。国からの通達により、新たにDV基本計画を策定せずとも、既存の計画の中に位置づけることでDV基本計画とすることができるため、県内の他市も同様の方針を採っていると聞いている。

**委員** 「子どもにとっての男女共同参画の促進」がうたわれている。教育の場においては推進も可能だが、家庭ではそこまで到達するのは難しい。何か施策を考えているか。

**事務局** 委員のおっしゃるとおり、家庭における教育の支援も必要だと考えているので、具体的には今後組み立てていく事業計画の中で示していきたい。

**委員** 家庭の中に父親と母親がいて、その雰囲気の中で自然に生まれるものが後々まで受け継がれると考えるので、そういった部分を大切にしてもらいたい。

**委員** 教育についての補足だが、男女共同参画を含めた人権意識の高揚として、幼稚園・保育園からの出前講座の応募が増えている。また、6年間で市内の全小学校を巡る出前講座を実施している。中学校については、12月の人権週間にあわせて訪問授業を行っている。最近では男女共同参画に関する出前講座の依頼が企業からも届いている。

**委員** これまでの内容の延長線になるが、本年度も絵手紙や標語を募集しているので、若い世代にも応募してもらえれば、男女共同参画について考える機会になるのでよいと思う。絵手紙などは高齢者の応募が多いが、「男女共同参画って何？」と家族で考える、みんなで考えるようになればもっと応募者が増えると思う。若い男女の作品には「なるほどな」と思われるものが多い。また、先ほど花づなの取材に愛知大学の学生が携わるという話を聞いたので、若い学生にも応募の年齢制限がないことを周知してもらいたい。

**委員** 30歳代女性の就労率が減少したという記述があるが、これは結婚年齢の上昇が原因ではないか。グラフを見ても、晩婚化が理由のひとつではないかと考える。また、核家族化によって子どもの世話を祖父母に任せられない家庭が増加したことなども理由とは言えないか。

**事務局** ご指摘のとおりかもしれないが、分析が難しい面もある。

**委員** 今年3月に内閣府がまとめた調査報告書によると、M字カーブの傾向が減少しているのは女性の起業が多いから、というデータがあった。若い女性が起業することである程度好きな働き方ができるようになり、出産や育児の時間配分が思いのままにできるという意見もあるが、それは少し違うと思う。また、M字カーブの解消を目指すと言っても、子どもを産まないから解消された、といった結果になるのは怖い。豊橋市としてはM字カーブを解消するために施策を行っていくのか。

**事務局** 就労という観点で言えば、M字カーブが解消する方向で進めばそれだけ環境が良くなっているという考え方のもと、事業を展開していく。

**委員** 大多数の人たちがパートなどで働いている、そういった下支えをしている人たちの環境をすぐに変えていかないと、M字カーブの解消や日常生活の改善にはつながっていかないと思う。

**委員** このハーモニープランは、2017年までに形が見えてくるということで、今後施策・事業につながっていくという説明だったが、具体的には豊橋市としてどのようなイメージを描いているのか。

**事務局** 現在の計画の基本目標をベースにしていくということで、この中間報告として示させていただいている。先ほど話題に上った就労面や人権面など、分野ごとでのレベルアップを図っていくということで、具体的なものはこれから検討していく。

**委員** レベルアップを図っていく中で、「男女が働きやすい仕事環境」のような内容も入ってくると考えるが、理念だけが先行していくと現実とマッチングしないという懸念がある。

**事務局** 事業は多岐に渡るため、男女共同参画に関する意識の高まりによって具体的な事業が図られ、それによってレベルアップしていくというものではないかと考えている。それぞれの分野での底上げ、意識の啓発、環境整備を行っていく。

**会長** その他、全体をとおして何かご意見があればご発言を願いたい。

**委員** 男女共同参画について、考えていたよりも非常に範囲が広く、あらゆる問題が関係してくると感じた。その問題についても言葉だけの理解だったので、ひとつひとつ掘り下げていきたい。今回ハーモニープランを読んでみて、具体的な実績やアクションプランとしての内容を理解するのに時間がかかることを実感した。

**事務局** 早めに資料を作成できれば、内容を見ていただいた上で審議会に参加していただけるようにしていきたい。

**委員** これまで話を聞いてきた中で思ったことは、プランの中に男女共同参画を進めてい

く上での子育てに対する支援に関する内容が少ないような気がする。社会情勢を考えた上で女性の雇用を促進していこうとするときに、今の日本の状況で忘れてはならないのが子育て支援だと思う。豊橋市は幼稚園・保育園数が多く、待機児童もゼロなので恵まれていると思うが、中には子どもの世話を手が回らない家庭もある。次代を担っていく子どもたちへの取り組みが掲げられているので、そういう面でのフォローをより一層豊橋市が行うべきではないかと感じた。

**委員** 簡単に「男性と女性は平等ですよ」といった内容を想像していたが、ここまで細かく幅広い内容だとは思わなかったので驚いている。もう少し勉強していきたいと思う。

**委員** 子どもからお年よりまで、全員がいろいろな役割でいろいろなところにかかわっていける全員参加型社会、そういった状況を作っていくのが男女共同参画であるという考え方をすると、とても理解しやすいと思う。

**会長** それでは、事務局は委員の皆さんのご意見などを今後の参考にしていただきたい。

## 5 その他

※男女共同参画に関する標語の選考会は9月13日（木）に開催予定

選考委員は以下のように決定

- 伊藤 友之
- 鈴木真理子
- 戸崎 史子

※第2回男女共同参画審議会の開催日時は追って事務局から連絡予定

## 6 閉会

平成24年9月13日

議事録署名者

伊藤 友之 ⑩

杉浦 廣行 ⑩

## 第 1 回豊橋市男女共同参画審議会 出席者名簿

No	氏名	選任区分
1	あらき ひとこ 荒木 仁子	豊橋商工会議所女性会元会長
2	いとう ともゆき 伊藤 友之	豊橋農業共同組合生活開発部長 (女性部会担当) 兼農機自燃部長
3	きのした たかお 木之下 隆夫	愛知大学文学部教授
4	すぎうら ひろゆき 杉浦 廣行	豊橋人権擁護委員
5	すずき まりこ 鈴木 真理子	豊橋女性団体連絡会副会長
6	たかくら のぶお 高倉 宣夫	公募
7	とさき ふみこ 戸崎 史子	公募
8	ひわだ えみ 鵜田 恵美	豊橋市小中学校 PTA 連絡協議会副会長

### <事務局>

文化市民部	部	長	倉橋 義弘
市民協働推進課	課	長	金子 尚央
		主 幹	中山 久美子
		課長補佐	河合 幸子
		主 査	小久保 雅司
		主 事	小林 玲奈
		主 事	青木 保憲